



GOVERNOR'S MONTHLY LETTER

DIALOGUE Governor+ No.10

茨城キリスト教大学 専任講師 ジャブコ・ユリヤ 氏

ロータリー環境月間によせて

ロータリー財団セミナー報告

ポール・ハリス・ソサエティ顕彰パーティー報告

ポリオ根絶啓蒙、広報活動について

新会員オリエンテーション報告

米山奨学生、大相撲で日本文化体験

ガバナー公式訪問報告 (石岡 87RC)

ガバナー公式訪問報告 (牛久 RC)

ガバナー公式訪問報告 (土浦南 RC)

ガバナー公式訪問報告 (つくばシティ RC)

1月会員増強報告

新会員紹介・

能登半島地震支援金のご報告

メンタルヘルス

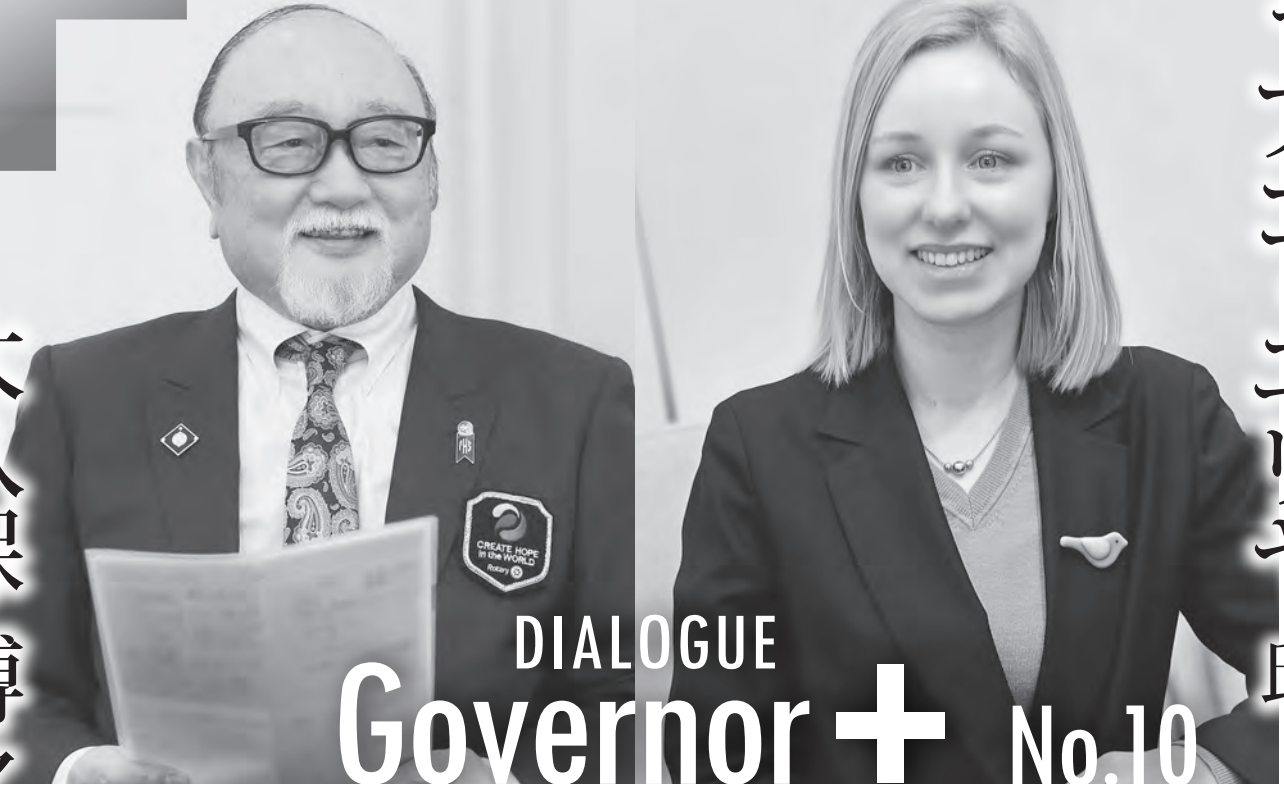
もの忘れと認知症

スケジュール・

映画会「祈り—幻に長崎を想う刻」平和な世界の構築を目指して

コラム 私の思い・編集後記・

茨城ガイドブック「見て寛 (ミテラン)」入手方法について



ウクライナを忘れない!

＜大久保ガバナー＞ 最初にジャブコ先生の自己紹介をお願い致します。

＜ジャブコ先生＞ 私はウクライナ出身のジャブコ・ユリヤと申します。2012年から日本に住んでいて、最後の8年間は茨城県に住んでいます。今は茨城キリスト教大学の専任講師です。

＜大久保＞ ロータリアンは世界に80万人ぐらいいるわけですが、RI会長が各クラブにお願いしたのは、第一に「世界平和とウクライナの支援」です。茨城県のロータリアン1人1,000円寄付してもらい、孤児になった特に女子の教育支援をやるということで、ウクライナのロータリークラブが教室を開いています。まず始めに聞きたいのは、ウクライナはどういう国で、どういう人種の人かいて、どういう文化で、どういう気質があるかです。

＜ジャブコ＞ ウクライナはヨーロッパとアジアのゲートのようなもので、ヨーロッパの文化でもあり、アジアの文化の価値観とも似ています。なのでその中間ですね。人種面ではウクラ

イナ領土にはエスニックウクライナ人は7割です。昔からウクライナに住んでいて、自分のふるさとが好き人が多いです。ウクライナは自分の国を守るという考えの人が多いです。侵攻が始まってから海外に避難しているウクライナ人が相当いますが、その5割ぐらいは帰っています。自分の郷土に残りたいという人たちです。文化としては、キリスト教文化で、8割近くの人キリスト教なので、キリスト教のお祭り、クリスマスやイースターをお祝いしたり、教会に行ったり、このような文化が昔からあります。日本では、農業国家としてのイメージがあると思いますがその通りで、今までは穀物輸出で世界のトップ5に入っています。教育レベルが高く、8割の高校生が大学に進学します。日本では例えばIT人材として求められています。いろいろな分野の専門家がいます。

＜大久保＞ 日本人と似ているところはありますか。

＜ジャブコ＞ 民主主義という自由と権利を尊

重なる文化が似ていると思います。侵略国家と違って、自由を尊重しています。日本人は自分の国が大好きで、日本のためといういろいろなスローガンがありますが、ウクライナもそういう人が多いと思います。

<大久保> ウクライナにもロータリークラブがあるのは分かっていましたか。

<ジャブコ> 日立市のクラブにお世話になった時には繋がりができていたことが分かったので、素晴らしいと思いました。日立市のロータリーでも孤児支援を行っていますね。

<大久保> ウクライナにもあります。

<ジャブコ> あるということを知って、今も繋がりがあって、とてもいいと思います。

<高原幹事> 去年のインターアクトの大会で講演されましたよね。素晴らしい講演でした。

<ジャブコ> ありがとうございます。

<大久保> 今、ウクライナは厳しい状況にありますよね。アメリカで予算が通らないということで、EUが財政面で支えると言っていましたが、ヨーロッパからのサポートがないとやっていけないですよ。

<ジャブコ> そうです。

<大久保> 日本も1,000万ドル出して、主に教育とか、地雷の撤去とか、戦争に関わらないことに補助するということです。日本は戦争の協力はできないんです。

<ジャブコ> 日本が果たしている役割は経済支援です。アメリカではトランプとバイデンの対立があって、それがどうなるか分からない状態ですが、日本は12月に経済支援を行うと発表してくださいました。今、重要なことは、年配の方に年金を支払うお金を用意することです。ウクライナの経済は5割ぐらいしか回っていないので、そう考えると武器支援以外の様々な支援があるので、日本の役割もとても重要です。

<大久保> 今度はロシアの侵略の話ですが、私は、許されない行為だと思っていますし、ウクライナが勝つまで支援しなければいけないと思うのですが、ロシアがクリミア半島に侵攻した時に、ウクライナの人たちは意外と反発しませんでした。意外に感じました。

<ジャブコ> 社会はものすごく反対していましたが、当時のEUはウクライナ政府の指導者

に声をかけて、大きな戦争が生じないように外交レベルで話し合いましょうということだったのです。でも社会は反対していました。

<大久保> キーウが攻められたら、プーチンは簡単にいくと思っていたのでしょうか。

<ジャブコ> きっとそうだと思います。

<大久保> ところが、ものすごい反撃に遭って、撤退しましたね。ウクライナの人って、昔からロシア人が好きじゃないんですか。

<ジャブコ> 好き嫌いというよりは、ロシアとウクライナは戦争の歴史が長いです。ウクライナはロシアだったというのはなくて、ウクライナはロシアの支配下だったという歴史が重要なのです。ロシアにとっては、一度占領したので、それをロシアの領土と解釈していますが、ウクライナの歴史の解釈は、私たちは支配下、植民地だった。ロシアはそれを認めていません。ウクライナは、1991年に独立した時に、ウクライナとロシアの当時の外交は、これからも政治面、経済面を含めて一緒に仲よくするような感じだったのです。ウクライナにとっては大きなショックでした。なぜかという、ウクライナ人は自分のことをウクライナ人だと思っていますが、ロシアの大統領はウクライナ人のことをロシア人だと言っているのです。プーチンは根拠のないことを言っています。ウクライナ人も支配下だった、植民地だった歴史は分かっているからこそ、私たちはロシア人ではないと言いますが、プーチン大統領はウクライナ人たちは存在していないと言っています。完全にアイデンティティの戦争です。

<大久保> そうですね。とはいえ、お隣の国で、ロシアの文化もかなり多いでしょう。

<ジャブコ> 多いです。ソ連という国は130以上の民族の集合でした。公用語はロシア語、ロシア文化が第一、130以上の民族は同化されていました。ウクライナは、歴史的に文化的アイデンティティが強く、反対運動の歴史があるからこそ、自分のアイデンティティは守ることができました。しかしロシア化されたことも多くて、ロシア語を使用している理由は、ソ連でキャリアを築くためにモスクワ指導者と同じようにロシア語を使わなければなりません。ロシアはウクライナを同化させようとして

いたのです。その結果を今は自分のプロパガンダに利用しています。

<高原> 今の中国と一緒にですね。宗教もそうですものね。

<ジャブコ> 中国は多民族社会なのに他の民族を認めていません。ロシアもまた同じです。

<高原> ロシア正教とキリスト教は違うのですか。

<ジャブコ> ロシア正教はキリスト教ですが、ロシア正教の歴史は、指導者の下、国家のためにあります。簡単に言うと、ロシア正教の指導者と大統領の繋がりが強くて、密接に政治に関わっている。なので、ウクライナはロシアの支配下だったから、ロシア正教も入っているわけで、ロシア正教はロシアの根拠のないイデオロギーを持ってくるのです。すごく危ないことです。

<大久保> ロシアが侵攻してきた理由が二つ。一つは、自分の領土だから占領したい。もう一つは、ウクライナがNATOに入ってしまうと困るといって危機もあったと思うのです。

<ジャブコ> 影響力ですね。ウクライナは民主主義国家でもあるし、ロシアと道別れで、EUへの加盟を目指しています。ウクライナで生まれた若者たちはロシアの文化を尊重していない。彼らはヨーロッパの価値観を持っているわけで、自由感も好きで、ソ連の道に戻りたくない。ロシアがその恐れを感じたため、自分の影響力に戻そうとしています。

<大久保> アメリカ大統領選挙で、ウクライナは賄賂が多くて、補助金を出すとどこかに消えてしまうという宣伝で議会が止まっているみたいですが、それは困ったことです。世界のためにもウクライナが勝利しないといけない。

<ジャブコ> ロシアのプロパガンダは、ウクライナへの支援がなくなるようにプレッシャーをかけています。アメリカではウクライナを支援したいトランプの下の政治家もいるのですが、選挙があるから目線がずれているのです。日本にもそういう解釈を持ってくる政治家がいますが、これはロシアのプロパガンダに乗っているのです。乗らないでほしいです。ロシアのプロパガンダというのは、ウクライナの社会の分裂に向けて行われています。例えば、人が疲弊しているというプロパガンダ。私は10月に10日

間、ウクライナに帰りましたが、疲弊などしていません。ウクライナ人が、私たちは死ぬまでここにいるので、ロシアにここに入ってほしくないという生の声を聞くと強いなと思います。実際に行ってみると人たちは前向きです。なので、世界の支援はすごく重要です。

<大久保> そうですね。ところで、ご実家はウクライナのどこですか。

<ジャブコ> 今、両親がいるのは南のほうのオデーサという唯一、港町として機能しているところです。そこにミサイル攻撃が毎日あります。先日そこに行って、ミサイル攻撃も体験しました。毎日、爆発音があつて、地震のように家が揺れて。信じがたい現実です。

<大久保> 今、オデーサはウクライナの占領下にあるのですか。

<ジャブコ> ウクライナの領土です。ロシアは港が機能しないように攻撃しています。

<大久保> ウクライナの代表的な食事はボルシチですか。

<ジャブコ> そうです。世界遺産、文化遺産のボルシチです。

<大久保> ボルシチはロシアじゃないのですか。

<ジャブコ> ボルシチはウクライナ料理です。ロシア人もそれはよく分かっていて、ロシア料理として紹介している。私は、12月に『日本が知らないウクライナ』という書籍を出版しました。この書籍でも書いた様に、ソ連という国は世界の人たちにとってはロシアでした。実際にはウクライナはソ連の時もウクライナ文化でした。ただ、ロシアは同化していたので、世界にはウクライナ民族、ベラルーシ民族、カザフスタン民族等をロシアのものとして紹介していました。あなたたちはどういう民族か、忘れてほしいわけです。ロシアが今までよくしていたことは、教育を通じて、ウクライナ人だけではなくて、それぞれの民族の記憶を消すことです。軍の次に何が入るかという、ロシア文科省です。軍が入って占領して、その次の日ぐらいはロシアの文科省と同じ教育、占領地で特別な教科書を使っています。あなたがウクライナ人であることは言うてはいけません。あなたはロシア人ですと。

<大久保> この対談が掲載される月信は茨城県の1,900人のロータリアンが読む雑誌ですが、ロータリアンは各地のリーダーだから、ウクライナ情勢にも興味があると思います。

<ジャブコ> ロータリーというのは重要な活動です。今、こんなにウクライナの支援を行っている方に、できるだけ母国の歴史と文化を説明したいです。ニュースも減っているし、関心も薄まっているのですが、忘れてはいけないところは、ウクライナは戦争を起こしていません。そして、ウクライナ人は自分の自由のために、戦っています。ウクライナは侵略国ではなくて、攻撃を毎日受けているのです。より多くの日本人に1,000年以上あるウクライナの歴史と文化を学んでいただきたいです。

<大久保> 戦争が収まったらぜひウクライナに観光で行きたいと思います。

<ジャブコ> 世界遺産もありますし、1,000年以上の歴史がある教会も残っていますが、親が住んでいるオデーサでは世界遺産に入った中心地の街が攻撃を受けたのです。ロシアはそういうことも記憶に残らないようにしています。

<大久保> 今、授業では何を教えていらっしゃるのですか。

<ジャブコ> 異文化間コミュニケーション学などで言語学の理論を教えています。

<大久保> 日本のロータリアンに期待することはありますか。

<ジャブコ> ロシアが全ての国際法を破りました。許してはいけません。その法律を破っ

ているロシアがもしウクライナを手に入れたら、全世界がカオスになってしまいます。独裁主義の国家がたくさんあるので、絶対許してはいけません。支援というのは、必ずしも武器支援ではなくて、いろいろな支援がある。例えば、親が戦争で亡くなった子どもたちもいますし、負傷者の子どもたちもすごく増えているのです。日本にも兵士の負傷者が何人か治療でお世話になっているのですが、いろいろな支援があるのです。経済支援もあるし、教育の支援もあります。ヨーロッパで最大の国が戦争で負けてしまったら、全世界が後悔すると思います。これからのご協力もぜひお願いしたいと思います。

<大久保> 私たちも、ロータリーを通じてですが、できるだけのことをやりたいと思いますし、私の仕事の上でも協力できることがあればやりたいと思います。

<ジャブコ> ありがとうございます。ぜひお願いします。



大久保ガバナー ジャブコ先生 高原幹事

PERSON

茨城キリスト教大学 専任講師 ジャブコ・ユリヤ 氏

略 歴 ウクライナ西部・リヴィウ市出身。イヴァン・フランク記念リヴィウ国立大学で日本語学及び英語学を学び、同大学院にて言語学博士号を取得。専門は社会言語学。現在、在日外国人の言語・文化的アイデンティティを中心に研究している。
日本に2012年から住んでおり、2016年から

茨城キリスト教大学の文学部に勤めている。
公 職 等 茨城キリスト教大学 文学部
現代英語学科 講師
著 作 等 ユリヤ・ジャブコ（2023）『日本が知らないウクライナ—歴史からひもとくアイデンティティ—』大学教育出版



ロータリー環境月間によせて

国際ロータリー第2820地区ガバナー

大久保 博 之

4月はロータリー環境月間の月です。近年のR I 理事会で母子の健康月間を7月に移動し、4月を環境月間とすることが定められました。

地球の環境保護と持続可能な社会づくりの為にR I では下記のような運動に取り組みます。

ぜひ各クラブにおいても奉仕活動にこうした観点を加えていくことが求められます。

- ①陸地、沿岸、海洋、淡水資源の保護と回復
- ②天然資源の管理と保全を支援する地域社会の能力向上
- ③持続可能な農業、漁業、水産養殖の実践の支援
- ④温室効果ガスの排出削減による気候変動の原因への取り組み
- ⑤気候変動の影響を受ける生態系と地域社会の強化
- ⑥環境を守る行動を促すための教育イニシアチブの支援

⑦より資源効率の高い経済を築くための持続可能な消費の提唱

⑧環境整備の問題と公衆衛生上の懸念への取り組み

かけがえのない地球を守るためには、地域の環境への取り組みが欠かせません。2021 - 2022年度新井パストガバナーはいち早くこのテーマを地区に取り入れ海岸清掃の運動を行いました。2022 - 2023年度大野直前ガバナーは環境保全の地域清掃活動を地区のすべてのクラブで実施しました。こうした取り組みは現在なお各クラブでそれぞれの事情に合わせて行われています。

環境月間の活動と言ってもCO₂の削減から、教育活動まで実に様々な課題が考えられると思います。各クラブでどうか議論していただき実情に合った課題を掲げ、4月には一つでも地域に足跡が残せることを願ってやみません。





ロータリー財団セミナー報告

資金推進・管理委員長

小野 智久

(日立RC)

日頃はTRF (The Rotary Foundation) の運営にご協力いただき誠にありがとうございます。

毎年この時期に行う財団セミナーを開く理由は、TRFにより、大野年度における地区補助金が適正に使われてきたこと及び大久保年度の地区補助金使用報告書提出状況について皆様にお知らせしなければならないからです。今年度来賓含め69名の参加にて行いました。

大野ガバナー年度における補助金申請状況ですが、申請クラブ数55クラブ中55クラブ、申請事業数56



事業(うち地区申請事業1)、環境保全事業20事業、未実施事業1クラブ(補助金返済済)、事業総額23,587,702円、確定金額8,608,800円、使用可能補助金総額11,795,960円・86,735ドル(¥136/\$)でした。

また、今年度は、正月に発生した能登半島地震へ緊急支援を行ってきた新井総括委員長、佐川補助金委員長からの報告がありました。急なお願いにもかかわらず人的・物的支援を地区内のメンバーからいただけたとの話があり、ロータリアンの絆を実感しました。他には、ローターアクトがネパールで行った水に関する支援について報告があり、実際に現地で1ヶ月近く調査をしてくるフットワークの軽さと現地の人々からニーズを引き出すコミュニケーション能力の高さの必要性を学びました。

メインの講演は、ロータリー財団の最新情報と題して、ロータリー財団第1地域コーディネーター飯村愼一様より講演をいただきました。主な内容として、アーチックRI会長エレクトの方針「ロータリーのマジック」の説明と、そのために財団が掲げた目標、①年次基金(8/31まで)、恒久基金(12/31)へ寄付、②自動定期寄付を利用する会員→10%増、③ポリオプラス・

ソサエティ(50人会員)の設立、④ポール・ハリス・ソサエティの認識向上→10%会員数増、⑤レガシーイベントのチーム：ミリオンダラーイベントによる恒久基金への寄付について話され、これらの努力・計画・寄付が“エンジンであるロータリー”を動かす“燃料”になるとおっしゃいました。

最後に、財団委員会では初めての試みであるパネルディスカッションを行いました。テーマを「補助金プロジェクトの質を高めるには」として、特筆すべき補助金事業を行った水戸さくらRCの「千波湖トイレ改修事業」を会長である岡田晃様より報告して頂き、その事業についてパネリストから質問や、その他参考になる意見をいただき、



1時間の議論もあっという間に過ぎました。特に、岡田会長の熱意と、それを裏付ける調査を元にこれだけの事業が行われたことは、参考になりました。また、来賓であるロータリー財団第1地域コーディネーター補佐森本敬三様や、ローターアクトクラブ前代表杉山吉彦様からは、ローターアクトや地域の方々を巻き込むことも大事であるとの意見もいただき、第2820地区における補助金を活用した奉仕活動が、益々盛んになっていくであろうと感じました。以上報告とさせていただきます。

1時間の議論もあっという間に過ぎました。特に、岡田会長の熱意と、それを裏付ける調査を元にこれだけの事業が行われたことは、参考になりました。また、来賓であるロータリー財団第1地域コーディネーター補佐森本敬三様や、ローターアクトクラブ前代表杉山吉彦様からは、ローターアクトや地域の方々を巻き込むことも大事であるとの意見もいただき、第2820地区における補助金を活用した奉仕活動が、益々盛んになっていくであろうと感じました。以上報告とさせていただきます。





ポール・ハリス・ソサエティ顕彰パーティー報告

地区ロータリー財団 補助金委員長

佐川 真治

(水戸東RC)

第2820地区会員の皆様におかれましては、日頃から地区ロータリー財団委員会にご支援・ご理解を賜りますこと、衷心より感謝申し上げます。

ロータリー財団の使命は「ロータリー会員が、人びとの健康状態を改善し、質の高い教育を提供し、環境保全に取り組む、貧困を救済することを通じて、世界理解、親善、平和を達成できるように支援すること」と示されています。

世界で良い奉仕活動をするために、ポリオを根絶するために、紛争に巻き込まれた子どもたちが将来の希望を見いだせるように、そしてみんなの人生を豊かにするために、第2820地区会員の皆様には、年次寄付・ポリオ寄付などを通じたロータリー財団へのご支援を頂いている处でございます。

その中でも毎年1,000ドル以上の寄付の約束をした会員をポール・ハリス・ソサエティ（PHS）と言います。第2820地区には現在111名のPHS会員がいらっしゃいます。これは、日本全国の地区の中でも3番目に多い会員数で、地区人数割りでは1番多い地区となっており、会員個々の財団寄付に対する思いの強さを感じる素晴らしい地区となっています。

特に2022-2023年度に入会されたPHS会員数は50名以上で、会員数が倍増いたしました。これは大野治夫直前ガバナーの財団寄付の重要性、PHS会員増強に対する熱いご認識と、その思いを真摯に受け止めて頂いた多くの会員の皆様のお陰と改めて感謝いたします。感謝の証として、当地区としては初めてとなるPHS顕彰パーティーを昨年1月に行い、全PHS会員をご招待してお祝いをいたしました。

今回は2023年1月から12月に新たにPHSに入会されました13名の新会員をお迎えし、2024年1月20日に水戸の三の丸ホテルで、PHS顕彰パーティーを開催いたしました。当日は大久保博之ガバナーをはじめとする地区役員の皆様、第一地域ロータリー財団地域コーディネーターの飯村慎一様（宇都宮90RC）をはじめ多くのご来賓をお迎えし、新たな会員のお祝いをいたしました。また、大野年度に年次寄付、ポリオプラス寄付に多大な貢献をされたクラブ様も招待をさせて頂き、一緒にお祝いをいたしました。

ロータリーにおける奉仕活動は、社会やクラブに貢献しながら、自己達成のために新たな知見や経験を得る研鑽の場になるのだと考えます。奉仕の理念や中核的価値を共有し、自己を磨き、生業を成長させ、持続可能な社会の発展のために「超我的奉仕」を実践されている第2820地区会員の皆様方に敬意を表しますとともに、今後も財団委員会として、クラブに寄り添った活動を継続すると共に、更なるPHS会員の増強を図っていききたいと思います。

末筆ながら、第2820地区会員の皆様のご活躍、ご健勝をご祈念し、PHS顕彰パーティー報告とさせていただきます。ありがとうございました。

新PHS会員（2023/1/1～12/31入会）

青木 正弘	(水海道RC)	2023/1/10
小林 保弘	(つくばシティRC)	2023/1/11
下間 幹	(つくば学園RC)	2023/1/11
玉田七百人	(つくば学園RC)	2023/1/11
中野 勝	(つくば学園RC)	2023/1/18
笹島 弥一	(日立中央RC)	2023/2/6
猪瀬 博	(つくば学園RC)	2023/2/7
有金 重幸	(日立中央RC)	2023/3/29
川上 英則	(水戸南RC)	2023/5/15
大澤 一茂	(水戸さくらRC)	2023/7/11
増山 英和	(水戸RC)	2023/8/29
石川 啓司	(水戸南RC)	2023/10/17
安藤 雅樹	(日立北RC)	2023/11/28



ポリオプラス寄付優良クラブ

牛久RC 友部RC 筑西きぬRC



年次寄付貢献クラブ

下妻RC つくば学園RC 鉦田RC





ポリオ根絶啓蒙、広報活動について

第4分区ガバナー補佐

高橋 采子

(古河東RC)

2023年10月7日と8日の二日間、古河市運動公園で開催された「関東ド・マンナカ祭り」に於いて、第4分区5クラブ（古河RC、古河東RC、古河中央RC、境RC、岩井RC）合同で、ポリオ根絶のための広報活動、啓蒙活動、募金活動が実施されました。第4分区5クラブが会長幹事会において何度も打ち合わせをして、和気藹々の中、一体となって、ポリオ根絶のための事業を成し遂げたことは、何事にもまして素晴らしかったと自負しております。



各クラブ2本ずつポリオ根絶の「のぼり」を新調し、高々とのぼりをなびかせ、ポリオ根絶のチラシを入れ込んだ「ポケットティッシュ」を配りながら、それぞれの募金箱を持って、来場者にお声掛けして、広報活動、募金活動を致しました。両日とも好天に恵まれ、大勢の市民が来場し、いろいろなイベントが催されている中で、ロータリークラブの面々は会場内を廻って募金活動、広報活動を活発に行いました。その結果、両日で180,354円という大金のご寄付を頂く事が出来ました。又両日、古河東ロータリークラブは、隣のブースで「絵手紙の会」の

方々のご指導の下「絵手紙体験」を実施し、大変多くの来場者に絵手紙体験をしていただく事が出来ました。地元のトモエ乳業様から、リングジュース500本を協賛いただき、絵手紙体験者に差し上げ、大変喜ばれました。来場者に書いていただいた絵手紙は11月4日と5日に開催された古河公方公園「よかんべ祭り」会場で展示されて好評を頂き、多くの来場者にロータリークラブの広報活動、啓蒙活動もすることができました。



大久保博之ガバナーの年度が始まる前から計画し、第4分区5クラブが総力をあげて成し遂げた事業はクラブ会員の絶大なる協力の賜物と感謝しております。

コロナ禍ではなし得なかった事業が、コロナ終息と共に徐々に再開し始めたことで、今年度の大きな事業の一つであったポリオ根絶の募金活動も成功裡に終わることができました。ありがとうございました。感謝





新会員オリエンテーション報告

クラブ奉仕総括委員長

星野幸子

(水戸西RC)

2024年2月4日午後1時から、水戸市のリリーベール小学校を会場に、「新会員オリエンテーション」を開催致しました。新会員オリエンテーションは、入会3年目までの会員を対象とした研修会です。今回も基本的なレクチャーとRLIのセッションの2本立てで行いました。

大久保博之ガバナーが運営する学校法人の小学校であり、英国式の施設の設えより、ハリーポッターの世界を彷彿させる校内での研修は、ロータリー歴の浅い参加者のワクワク感を醸成させる効果がありました。

参加者は、新会員32名、ガバナー補佐2名、RLI委員11名、クラブ奉仕委員12名(RLI委員2名重複)、大久保博之ガバナー、大高司郎ガバナーエレクト、高橋賢吾RLI地区代表ファシリテーター、藤居彰一担当カウンセラー、計61名で開催しました。

初めに、大久保ガバナーの挨拶では、リリーベール小学校の20年の歩みを動画で視聴しました。リーダーを育成することの重要性をお話しくいただきました。

次に、星野が、参加者全員を巻き込んで、グリーティングワークショップとして、名刺交換とロータリアンとして仲間をつくる意義をお伝えしました。

藤居担当カウンセラーからは、ロータリアンだからこそ出来る奉仕活動の紹介として、新井和雄地区ラーニングファシリテーターが中心となって行った能登半島地震、被災地への緊急支援活動、被災地の病院支援の様子を発表して頂きました。

大高ガバナーエレクトは、「DEIとロータリー」と題して、DEIについてほとんど知識のない新会員に向けて、ロータリーの多様性、公平性、インクルージョン(包括性、包摂性ともいう)について要点をレクチャーしてくださいました。特にインクルージョンの重要性をお話しくいただきました。

RLIのセッションテーマは、「ロータリーにおけるリーダーシップ」と「私のロータリー世界」。クラブ奉仕委員も受講生となり、1グループ7名から8名で45分間のセッションを進めました。ファシリテーターのテンポの良い進行のもと、参加者が偏りなく発言し、学び多き時間となりました。



最後は、藤居担当カウンセラーの総評、そして、高橋RLI地区代表ファシリテーターがトレーニングからラーニングへの転換による学習定着率の差を示し、ロータリーは自ら学ぶラーニングへ昨年の7月から変わり、これからのロータリアンは学びを人に教える、伝えることにより深める必要性を訴え、総評となりました。

クラブ奉仕委員会では、これからも地区内55クラブの会員の皆さんのサポートを積極的に行ってまいりたいと存じます。





米山奨学生、大相撲で日本文化体験

米山学友委員

原 田 博 夫

(土浦RC)

R I 第 2820 地区の米山奨学生 34 名および米山委員 6 名、計 40 名は、両国国技館（東京都墨田区横綱）で、日本文化体験の一環として、昨年度に引き続いて令和 6 年（2024 年）1 月 20 日（土）に大相撲を観戦しました。初場所は 1 月 14 日（日）に始まっていたので、7 日目の取り組みでした。

同日 12 時に正面の櫓太鼓前に集合し、まずは全員で近くの、瀬戸隆海（水海道 RC）米山学友委員長紹介による「霧島」でちゃんこ料理を堪能し、14 時前には会場の 2 階西に入場し、着席しました。2 階席は、中央の土俵からはかなりの距離がありますが、国技館の全体が見渡せるうえに、1 階とは異なり椅子席のため、畳への着座に慣れていない奨学生および高齢者にはむしろ好都合で、着席シートに関しては不満はなかったようです。

その後、数グループに分かれて、米山委員が引率して相撲博物館などを見学しました。展示されている歴代横綱の豪華な化粧まわしや、野見宿禰神社の授与所などを興味深く見学し、大相撲の歴史と伝統に触れることができました。

肝心の相撲の取り組みですが、多くの奨学生にとっては、大相撲見学が初めてでもあり、力士が「清めの塩」を撒く所作や、勝敗の分かれ目が気になったようです。同伴していた米山委員への質問は途切れませんでした。また、幕内

力士の取組前の、化粧まわしをつけて土俵を一周する中入りでは、そのボリューム感に圧倒されたようでした。茨城県出身力士のこの日の星取は、西前頭 16 の武将山（水戸）が白星、東小結の高安（土浦）は黒星でした。

中入り後は、奨学生のそれぞれの事情（勉強のスケジュール、所在地の遠近など）に応じて、適宜、解散としましたが、いずにせよ充実した日本文化体験でした。

こうした機会をアレンジしていただいた、塙東男（笠間 RC）パストガバナーや木村美枝子（水戸好文 RC）米山記念奨学会総括委員長に感謝する次第です。





ガバナー公式訪問報告

幹事 飯塚 徳和
(石岡 87 R C)

10月12日(木)大久保博之ガバナー、高原裕地区幹事、白田礼治地区副幹事、鶴田一郎第6分区ガバナー補佐、菊池泰正セクレタリーをお迎えしガバナー公式訪問が行われました。

当日は、御一行到着後「見て覧(ミテラン)」ガイド候補地を視察いたしました。

1. 旧町名石碑(守木町)
2. メモリアルアトラス
3. 耳守神社 を視察して頂き感想やアドバイスを頂きました。



その後、クラブ例会場(いづみ荘)に移動して、会長、副会長、幹事、副幹事との事前協議会を

行いました。村田会長より、石岡87RCの活動内容を報告させて頂きました。大久保ガバナーより今後の活動運営等について貴重なご指導を頂きました。

その後、例会、来賓の方々を迎えて盛大に例会が開催されました。大久保ガバナーの卓話を頂きました。自己紹介から始まり、国際ロータリー会長テーマ「世界に希望を生み出そう」の目的、第2820地区ガバナースローガン「まちを磨けば、あなたが輝き、世界を彩る」の意味、「見て覧(ミテラン)」作成の思いの説明を聞かせて頂きました。

その後、クラブ協議会では、各委員会委員長の報告後に、大久保ガバナーから丁寧なアドバイスを頂き、当クラブが抱える課題や活動についてご指導を頂き、とても有意義な1日を過ごすことが出来ました。

大久保ガバナーを始め、役員の皆様にお越し頂きまして、会員一同心より感謝申し上げます。誠にありがとうございました。





ガバナー公式訪問報告

幹事 川島紀文
(牛久RC)

大久保博之ガバナーをはじめ地区役員の皆様に10月16日(月)牛久ロータリークラブの例会会場であるベルザクラスにお越しいただきガバナー公式訪問を開催致しました。ガバナー公式訪問前には「見て覧(ミテラン)」の掲載地である牛久シャトー神谷傳兵衛記念館と、かっぱを描いた画家の小川芋銭が過ごしたアトリエ兼住居(雲魚亭)へ同行させていただきました。



大久保ガバナースローガン「まちを磨けば、あなたが輝き、世界を彩る」のもと地域の文化、歴史、宝に触れていただき心より感謝申し上げます。偶然にも雲魚亭では小川芋銭の子孫にもお会いする機会にも恵まれました。

その後、例会会場では川田会長はじめ牛久ロータリークラブ役員と大久保ガバナー、地区役員の皆様と事前協議会を執り行いました。例会内では牛久ロータリークラブ会員が大久保ガバナーの卓話を拝聴し今後のロータリー活動への在り方、会員ひとり1人が何をすべきかご指導いただきました。

2023-2024年、川田会長年度には地区補助金を利用した事業名「地域の子どもたちを守ろうプロジェクト」と題し牛久市内小中学校13

校へ最新の返し付き刺股を各2本寄贈致します。牛久市、牛久市教育委員会後援、牛久警察署協力のもと牛久市ひたち野中学校全生徒の前で安全防犯対策の実演事業も計画しております。またロータリークラブの公共イメージアップも狙い市内公共施設へ大きなサイズの安全ポスター掲示も予定しております。総事業費130万円を使い地域のために貢献して参ります。

そして来年度は牛久ロータリークラブ40周年事業を控えております。大切な時期に多くの会員全員で素晴らしい事業を構築したい、野口会長エレクトも力が入っております。大久保ガバナーの卓話でもありました会員増強はこのクラブにとっても最重点課題となっております。牛久ロータリークラブでも会員増強へ会員全員で協力し合い仲間づくりを心掛けて参ります。

最後になりますが、ガバナー公式訪問内での至らない点や不手際があったかと思いますが、その反省を今後のクラブ運営に活かさせていただきます。何より公式訪問での大久保ガバナーの卓話から多くのことを学ばせていただきましたことを大切に結果を出して行きます。ありがとうございました。





ガバナー公式訪問報告

幹事 榎 戸 憲 一
(土浦南RC)

10月17日(火)さわやかな秋晴れの下、大久保博之ガバナーをはじめ鶴田一郎第6分区ガバナー補佐、高原裕地区幹事、増山英和地区会計長、西修地区副幹事をL'AUBE(ローブ)にお迎えして、ガバナー公式訪問の1日が始まりました。

午前10時にガバナー、ガバナー補佐他皆様が到着され片岡パストガバナー、会長、幹事、SAAでお迎え、ご挨拶後大久保ガバナーが掲げている「見て覧(ミテラン)」の当クラブの場所、霞ヶ浦ヨットハーバーに皆様を案内し、その後会場に戻り午前11時10分より午前協議会



が開催されました。会員増強の課題やローターアクト・インターアクトの活動の改善点等についての的確に指導して頂きました。その他多種多様な課題について意見交換が行われ、有意義な時間を送ることが出来ました。

例会の卓話ではRI会長のテーマの説明から、ガバナーのスローガン「まちを磨けば、あなたが輝き、世界を彩る」について丁寧な説明を頂き、地区目標について今年度活動の方向性について

大変わかりやすく説明して頂きました。

記念撮影をはさみ、午後2時からのクラブ協議会では各委員長よりの事業計画に対し、一つ一つに丁寧にご指導を頂き、今後のクラブ運営に活かされる貴重な機会を得られたと感謝しております。

午後4時10分からつくば国際大学東風高等学校インターアクトクラブの顧問教諭、土浦南ローターアクトクラブ水村会長、当クラブの関係諸委員長との懇談会を行いました。インターアクトクラブ・ローターアクトクラブの活動に対して具体的アドバイスを頂き、今後の活動についての示唆を頂戴致しました。



長時間にわたる日程の中、丁寧にご指導頂きましたことに感謝とお礼を申し上げ報告とさせていただきます。





ガバナー公式訪問報告

幹事 **飯島 洋 省**
(つくばシティRC)

秋晴れのすがすがしい天気の中、スタートは筑波山観光案内所集合からの、筑波山旧郵便局、筑波山神社、神郡地区、エキスポセンターと「見て覧（ミテラン）」候補地を遊佐会長、宮本委員長、飯島の案内で、大久保ガバナー御一行にご視察いただきました。ご一緒に汗をかき、石段を登りながらの意見交換は、いっきに大久保ガバナーとの距離を縮めることのできた貴重な機会であったと思います。

ガバナーとの協議会では、遊佐会長の方からつくばシティロータリークラブの状況について



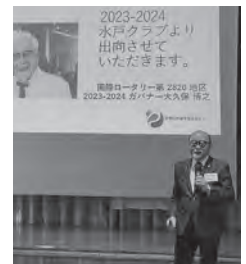
ご報告致しました。大久保ガバナーからは冗談も交えつつ様々なお話を伺いましたが、午後からのクラブ協議会では、報告書は目を通してきているので、報告書を単に読み上げるのではな

く、要点をまとめて、質問等があればおおいにして欲しい旨話されました。

例会においては、大久保ガバナーから予め用意された画像・動画を用いた卓話を頂戴いたしました。卓話では、ガバナー自らが運営されている学校の活動紹介を交えながら、ロータリーの世界に希望を生み出す活動方針、リーダーの人材育成の大切さなど多岐にわたり、また予定時間を超えての熱いお話を頂戴いたしました。

例会後のクラブ協議会では、大久保ガバナーのご要望通り、各委員長の皆様は、報告を読み上げるのではなく、簡潔に、かつ質問を交えながら、議論の協議会となりました。大久保ガバナーからは、すべての報告について一つ一つコメントを頂きました。

残念ながら懇親会はごさいませんでした。沢山のご指導、ご指摘を頂戴いたしました。ありがとうございました。本公式訪問におきまして、大久保ガバナーをはじめすべての関係者の方に厚くお礼申し上げます。





1月会員増強報告

分 区	クラブ名	会員増強報告 (単位/人)								
		本 年 末 会員目標	期 首 会員数	1月実績		本年度累計			2024年 1月末日	うち 女性
				入会	退会	入会	退会	純増		
第1 分区	日立	74	72	2	0	2	2	0	72	3
	日立南	34	32	0	0	3	1	2	34	3
	高萩	30	26	0	0	1	0	1	27	0
	北茨城	28	25	0	0	1	0	1	26	3
	日立港	35	33	1	2	2	2	0	33	3
	日立北	30	28	0	0	0	1	-1	27	0
	日立中央	20	18	0	0	1	1	0	18	2
	合 計	251	234	3	2	10	7	3	237	14
第2 分区	那珂湊	25	23	0	0	0	2	-2	21	1
	常陸太田	31	29	1	0	1	0	1	30	6
	大子	23	21	0	0	0	0	0	21	2
	大洗	18	15	0	0	3	1	2	17	0
	勝田	27	25	0	0	1	0	1	26	4
	東海那珂	34	32	1	0	3	0	3	33	0
	ひたちなか	23	21	0	0	0	0	0	21	2
	合 計	181	166	2	0	8	3	5	169	15
第3 分区	水戸	125	124	1	1	9	4	5	129	5
	笠間	17	15	0	0	1	0	1	16	0
	水戸西	73	71	0	0	1	3	-2	69	13
	水戸南	80	77	2	0	2	0	2	79	12
	友部	21	17	0	0	1	0	1	18	0
	水戸東	67	62	0	0	2	2	0	62	4
	水戸さくら	49	36	2	0	11	4	7	43	6
	水戸好文	18	16	0	0	1	0	1	17	16
合 計	450	418	5	1	28	13	15	433	56	
第4 分区	古河	54	51	1	0	1	2	-1	50	4
	境	32	29	2	0	2	0	2	31	0
	岩井	9	6	0	0	2	0	2	8	1
	古河東	53	51	1	0	2	2	0	51	16
	古河中央	50	46	0	0	2	1	1	47	5
合 計	198	183	4	0	9	5	4	187	26	
第5 分区	下館	35	29	0	1	1	2	-1	28	3
	結城	26	24	0	1	0	2	-2	22	0
	真壁	16	15	0	0	0	0	0	15	0
	下妻	64	61	0	0	1	0	1	62	6
	しもだて紫水	53	51	0	0	1	0	1	52	4
	筑西きぬ	16	11	0	0	1	0	1	12	2
	岩瀬	22	20	0	0	0	0	0	20	0
	合 計	232	211	0	2	4	4	0	211	15
第6 分区	石岡	18	17	0	0	0	0	0	17	0
	土浦	51	48	0	0	0	3	-3	45	8
	土浦南	89	87	0	0	1	1	0	87	7
	つくば学園	103	101	0	0	3	4	-1	100	0
	石岡87	26	24	0	0	1	0	1	25	0
	土浦中央	13	11	0	0	0	0	0	11	0
	つくばシティ	58	53	0	0	2	1	1	54	8
	阿見	16	13	0	0	2	0	2	15	1
つくばサンライズ	14	13	0	0	0	1	-1	12	5	
合 計	388	367	0	0	9	10	-1	366	29	
第7 分区	竜ヶ崎	35	34	0	0	0	0	0	34	5
	水海道	55	53	0	0	0	0	0	53	2
	取手	18	16	0	0	0	0	0	16	0
	牛久	39	38	0	0	0	0	0	38	3
	守谷	5	3	0	0	0	0	0	3	0
	龍ヶ崎中央	10	7	0	0	2	0	2	9	2
合 計	162	151	0	0	2	0	2	153	12	
第8 分区	鉾田	30	29	0	1	0	1	-1	28	0
	鹿島臨海	45	44	0	0	0	2	-2	42	5
	玉造	11	8	0	0	0	0	0	8	1
	波崎	15	13	0	0	0	0	0	13	1
	鹿島中央	22	20	0	0	1	0	1	21	2
合 計	123	114	0	1	1	3	-2	112	9	
茨城Eクラブ	13	11	0	1	0	2	-2	9	3	
地区合計	1998	1855	14	7	71	47	24	1877	179	

※期首とは7月1日の午前0時時点、末日とは当日末日午後12時時点とする。

新会員紹介



日立RC
岡部 正伸

- 入会日
2024年1月1日
- 職業分類
電気機械器具製造業



日立RC
鈴木 裕一

- 入会日
2024年1月1日
- 職業分類
法人・団体役員



水戸南RC
石川 豊

- 入会日
2024年1月12日
- 職業分類
建築業



水戸南RC
菌部 まゆみ

- 入会日
2024年1月12日
- 職業分類
訪問看護・生活支援サービス



古河RC
根目沢 順子

- 入会日
2024年1月12日
- 職業分類
歯科業



水戸さくらRC
内山 貴裕

- 入会日
2024年1月15日
- 職業分類
広告代理業



水戸さくらRC
吉田 幸一朗

- 入会日
2024年1月15日
- 職業分類
コンサルタント業



境RC
野口 富太郎

- 入会日
2024年1月18日
- 職業分類
製茶業



境RC
中村 和夫

- 入会日
2024年1月18日
- 職業分類
建設業



水戸RC
田所 久嗣

- 入会日
2024年1月31日
- 職業分類
損害保険業



【能登半島地震支援金のご報告】

2024年1月12日（金）緊急災害支援品として、石川県七尾市恵寿総合病院へ水・食料・衛生用品の搬入を行いました。また、地区内クラブからの支援金のとりまとめが終了し、2月22日（木）に第2610地区（石川・富山）ガバナー事務所へと送金致しました。

■支援先：国際ロータリー第2610地区「能登半島地震支援金」と恵寿総合病院へ

■支援金総額：201万1,313円



メンタルヘルス

もの忘れと認知症

高沢 彰

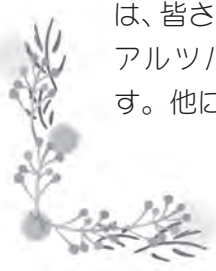
もの忘れが気になり、認知症への不安がつのる、という方、多いかもしれません。

さて、記憶は大きく分けて記録、保持、再生の3つの過程に分けられます。情報を覚え込み、保持し、そして思い出す、それぞれ別々の機能です。30歳半ばくらいから出てくる、いわゆる「うっかり忘れ」は再生機能の障害です。たとえば人の名前が出てこないとか、財布などの置き場所を思い出せない等、あとでポツと思い出すことが多い現象です。この再生の障害は比較的早く出てくる現象ですが、保持の障害は高齢者の方のもの忘れに多く見られ、認知症の方では、保持だけでなく、最初の記録、すなわち記録も障害されるようになります。すると、短期記憶ができなくなります。申し遅れましたが、記憶には短い間だけ覚えておいてあとは忘れてしまうような短期記憶（電話をかけるときに番号を覚えている、等）とずっと覚えていることが出来る長期記憶（昔の記憶や家族構成など）があり、メカニズムが異なると考えられています。認知症の方は、短期記憶は発症早期から障害されますが、長期記憶は比較的保たれるのが特徴です。

認知症は脳の細胞が何らかの原因で脱落し、その結果記憶を中心とした脳の機能が低下する病気です。原因は色々あるのですが、75歳以降で多く見られるのは、皆さんよく耳にされると思いますが、アルツハイマー型認知症という病気です。他にも、レビー小体病や前頭側頭型

認知症、脳血管障害による認知症などありますが、今回は紙面も限られておりますので、アルツハイマー型認知症についてごく簡単にお話しいたします。アルツハイマー型認知症では、脳内にアミロイドβとタウという2つの蛋白が溜まり、その結果として、脳細胞が脱落し、認知症を発症します。その過程については諸説あり、まだ未解明の部分も多々あるのですが、普段は溜まらない蛋白の蓄積が原因と考えられます。最近話題になっている抗体医薬はこのうちアミロイドβを脳内から除去するというアイデアで開発されていますが、その効果の程はこれから明らかになるでしょう。

認知症の方は記憶ばかりではなく、その他の認知機能も徐々に障害されていきます。認知機能とは、外界での出来事を知覚した上でそれが何であるかを判断したり解釈したりする能力のことです。要するに、周りで起こっていることを「正確に」理解出来なくなっていくのです。そこから、錯誤や妄想的な解釈、あるいは、道に迷ったりする徘徊も出てくるわけです。これらの症状はBPSD（認知症に伴う心理行動障害）と総称され、認知症に随伴する症状として、しばしば介護を困難にする要因とされています。認知症の方は多かれ少なかれ、主症状である記憶障害だけでなくこのBPSDをお持ちです。BPSDは随伴症状なので、改善する可能性もあります。精神科医など、この領域を専門とする医療介護関係者にご相談になる事をおすすめします。



スケジュール

4月14日(日) 地区研修・協議会
(ホテル テラス ザ スクエア 日立・
シビックセンター)

6月1日(土) 第二回 会長幹事会
(水戸京成ホテル)

5月14日(火) 地区大会記念ゴルフ大会
(大洗ゴルフクラブ)

5月25日(土) - 29日(水) 国際大会
(シンガポール)




LINE 公式アカウント

@103mbrqx

友だち募集中

第2820地区公式LINEを開設いたしました。
LINEアプリより友達登録をしていただくと、
地区からのお知らせや月信がご覧いただけます。



LINEの「友だち追加」から、ID検索するか
QRコードをスキャンしてください



映画会「祈り—幻に長崎を想う刻」 平和な世界の構築を目指して

地区青少年奉仕 総括委員長

高田 稔美
(つくば学園RC)

このたび映画の上映を通じて平和な世界について皆様と考え、行動に繋げる機会として映画の上映を企画しました。下記QRコードよりお申し込みください。先着順となっておりますが、是非お子様、お孫さんにご参加いただければ幸いです。皆様のお申し込みお待ちしております。

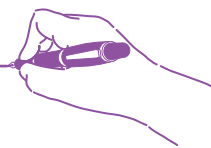
日 時：令和6年4月21日(日)
開場：8時30分 開会：8時45分
閉会：11時45分
会 場：水戸市民会館 中ホール
参加費：無料



(私論) 骨太の教育改革を

ガバナー 大久保 博之

- かつての教育改革の失敗に、「ゆとり教育反対」があります。かつて日本が世界の初等教育と言われ、学力が先進国中第一位の座を保っていたときに、誰かが「天才が生れない創造性が欠けるのは詰め込みのせいだ。」「日本の大学教育はだから世界的レベルから遅れている。」と言い「偏差値教育反対」「詰め込み教育は悪」という風潮が広まりました。週3時間のゆとりの時間ができて読解力などは先進国中16位になってしまいました。大学のレベルはもっと落ちました。英国では当時ブレア首相の下、初めて国の指導要領を作り、国家を挙げて公立学校の教育向上に取り組んでいるときに、日本は反対の事をやったわけです。
- 読んだこともない歴史教科書をマスコミにあおられて「戦争賛美の教科書だ」と反対運動をしている人はいまだに多く居ますし、ジェンダーフリー教育を勘違いして「男女は全て同じ」「男女別混合名簿」「男女混合整列」の学校は主流になりつつあります。
- 私は世の中、格差があって当たり前だと思います。商売人の家に生れたか、教員の家に生れたか、はたまた農家に生れたかは宿命で、誰も人生はその違いを踏まえて出発しなければなりません。競馬やパチンコに夢中の親の元に生れたか、書齋で研究書を読み漁る親の元に生れたかを、子供が選べないことは自明のこと、学力に限らず芸術分野でもスポーツ分野でも子供が選べない環境を不平等だといっても始まりません。
- 安倍内閣で格差が開いたと言いますが、青少年の職業希望のアンケートには「コンビニの店員」が上位に来る時代。要するにそれまでの育て方を間違えた人が増えた結果です。西欧の金持ちとそうでない人との格差（最近では共産主義の中国でも）は日本の格差とは比べようも無く大きいのが世界の常識です。
- 社会階層を越えて子どもたちに格差を超える挑戦の自由は社会に常に平等に保障されなければなりません。そしてその手段が学力であれ、芸術であれ、スポーツであれ「教育」であることは間違いありませんが、少なくとも学力の格差は「所得の格差」ではなく「地域文化（つまりは家庭の姿勢）」の差であることは、うすうす公立の校長先生方は知っています。農村部で進学にそれほど興味の無い地域、あるいは商店街の中の小学校は（所得が高くとも親が忙しすぎて）得てして学力が高くなく、学区に国家公務員の官舎や、銀行の社宅が多い学区は高い成績を示すことなど、経験的に知られていることで、社会で言われているように単純な所得格差論は政治的に利用されているとしか思えません。
- 今こそ、本当の教育改革が求められています。



茨城ガイドブック「見て覧（ミテラン）」入手方法について

下記の内容をご覧ください、ガバナー事務所「見て覧（ミテラン）」専用口座にご寄付をお願いいたします。

- 「見て覧（ミテラン）」入手方法：5冊単位でお受けいたします。（HPにて申し込み書掲載あり）
1冊あたり 1,000 円の寄付+送料 370 円（5冊毎）
（例）10冊ご注文の場合 10,740 円をお振込みをお願いいたします。
- 送金明細書をガバナー事務所に FAX かメールにて送信をお願いいたします。（FAX：029-246-5766）
- 送金先：国際ロータリー第 2820 地区 ミテラン会計長 増山 英和
（コクサイロータリー ダイニセンハッピークニジュウチク
ミテラン カイケイチョウマスマヤマヒデカズ）
常陽銀行 本店営業部（004）普通 3916065
- 「見て覧（ミテラン）」の発送元は「戸田産業株式会社」となります。

編集後記

日頃より「月信」発刊に際しまして、原稿のご提供等、ご協力を頂き改めて感謝申し上げます。また、能登半島地震で被災された方々に心よりお見舞い申し上げます。

さて、大久保ガバナー年度の「月信」も残すところあと数回です。編集委員となった当初は不安だけでしたが、今では少し寂しさを感じております。今回のガバナー対談の対談相手はウクライナのジャブコ・ユリヤさんです。ウクライナが身近に感じられる内容となっていて、改めて一日も早くウクライナに平和な日常が戻ることを祈らざるをえません。先日、防衛省関係の方の講演で、昨今の世界情勢は「複合事態」であり、国際的な先行きは極めて複雑になっているとのことでした。それでも、利他の気持ちを大切に、SDGsへの積極的な取り組みを行うことで平和な社会に貢献できると思っています。そしてロータリー活動を通して少しでも社会に役立つことができればと願っています。（藤田）

